

在宅入力用の機能

「ネットワーク遅延表示」  
と  
「会場表示エコーバック」の設定方法

(IPtalk9t68での設定方法)

2020年6月22日

この資料では、IPtalk9t68での設定方法を説明しています。

チェックの場所が分かり難いため、次のバージョンでは、遠隔入力関係のチェックを集めたいと考えています。

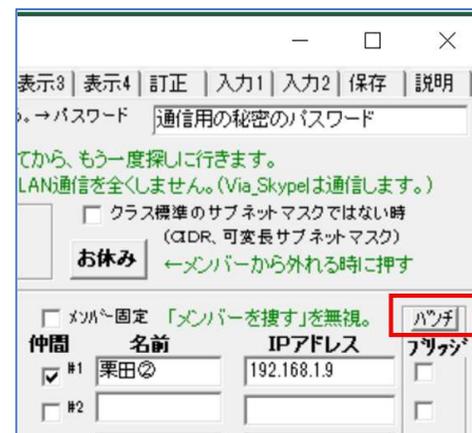
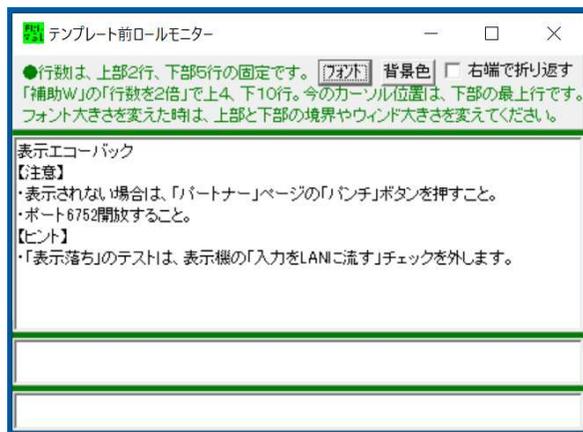
つまり、暫定の説明書です。



# 「会場表示エコーバック」の設定方法

## 入力機

- ①「テンプレート前ロールモニター」ウィンドウの1つ目のスプリッタの下を開く。
- ②表示されない時は「パートナー」ページの「パンチ」ボタンを押す。

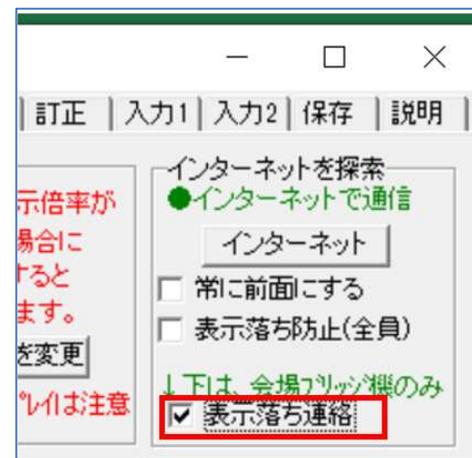


## 表示機

- ①「補W2」ページの「インターネットを探索」枠の「表示落ち連絡」チェックを入れる。

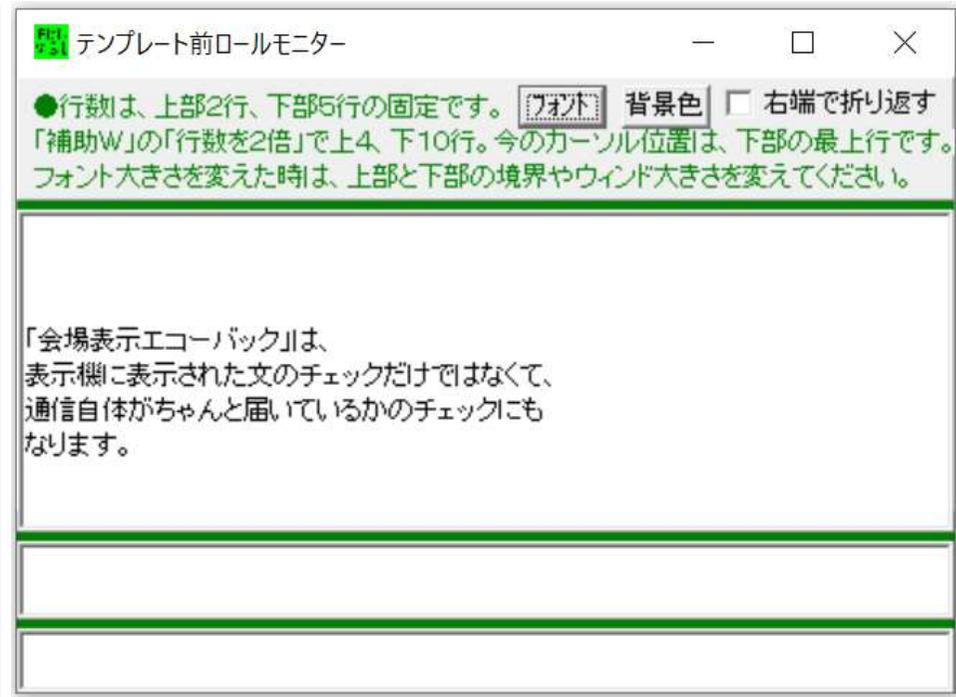
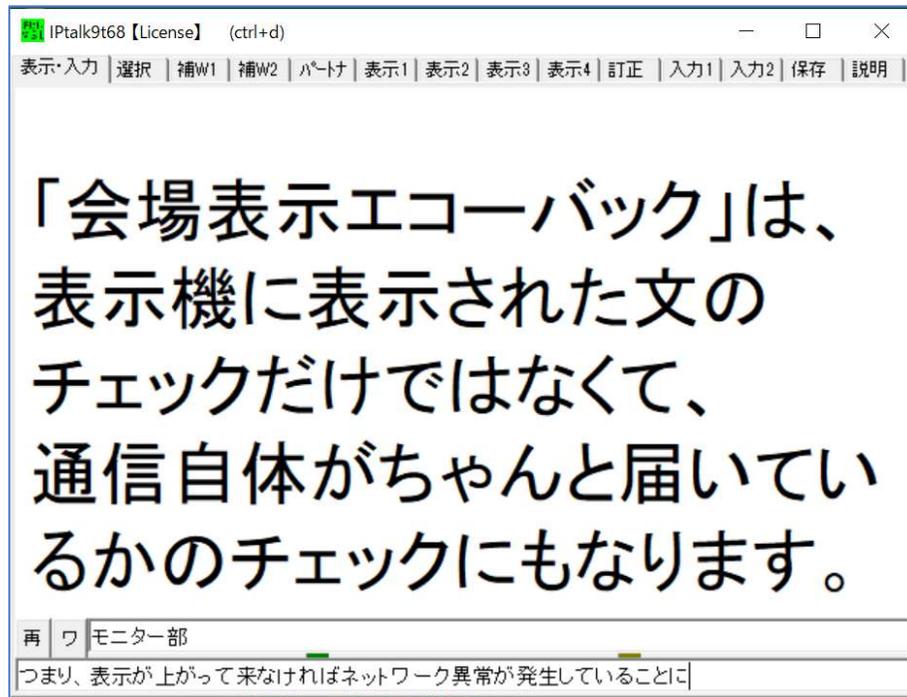
### 【注意】

表示機1台のみにチェックを入れてください。  
複数台にチェックを入れるとエコーバックの表示が乱れます。

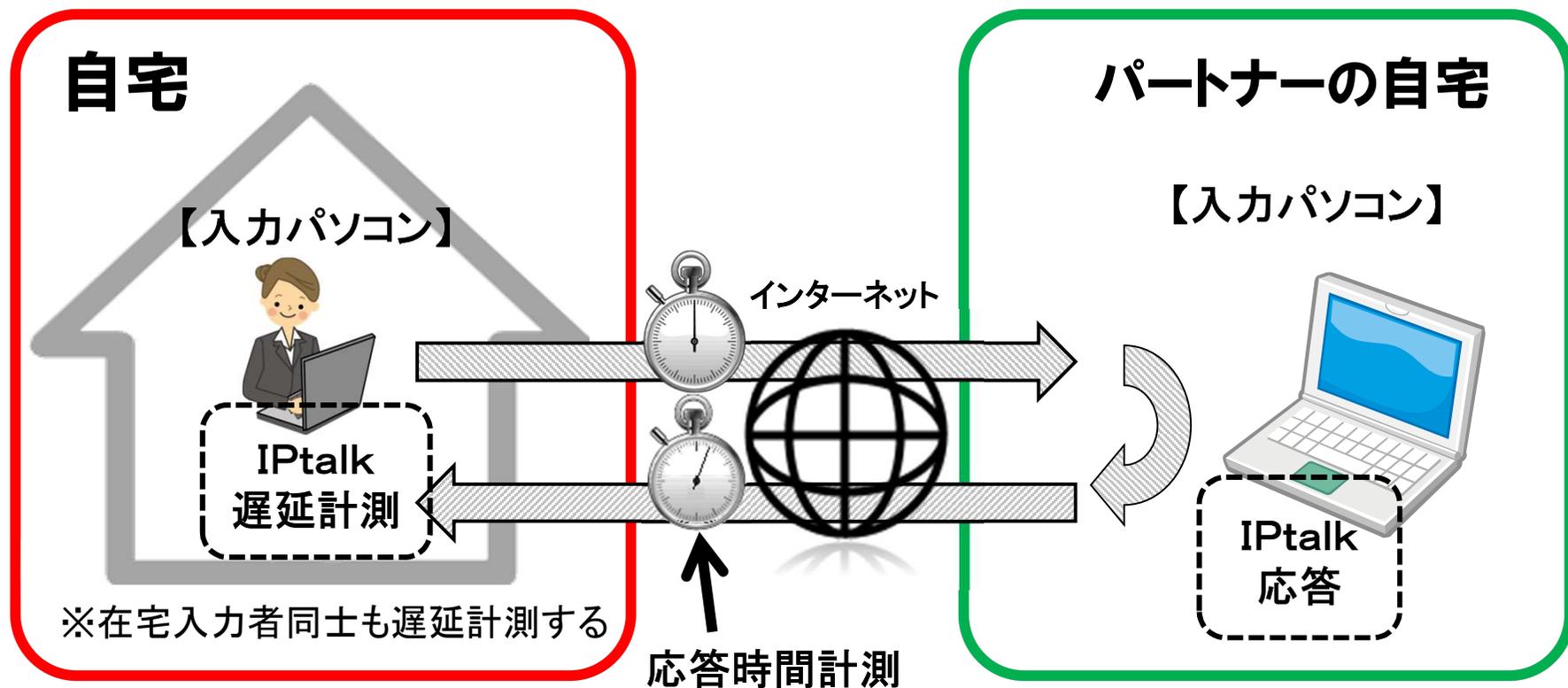


# 「会場表示エコーバック」の表示例

- ・表示機の桁数・行数でエコーバックされます。

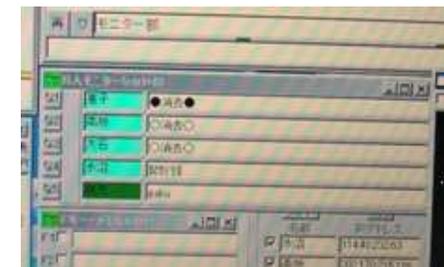


# 在宅入力用の機能 「ネットワーク遅延表示」



8人モニター (ctrl+B)		
な1	←1秒以内	
な2	←2秒以内	
な3	←3秒以内	
な4	←4秒以内	
な5	←4秒以上	
な6		
な7		
な8		

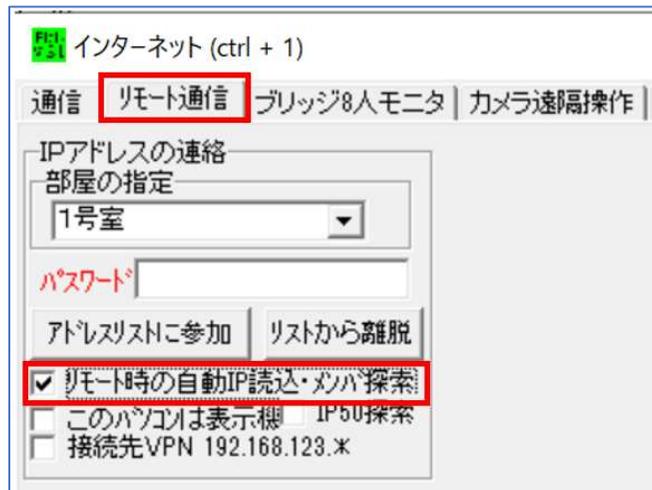
ネットワーク遅延は連係入力に影響する。  
入力者が遅延を意識することで一時的に1入力の長さを長くするなど対策が可能



# 「ネットワーク遅延表示」の設定方法

## 入力機（見たい人のみ）

①「インターネット」ウィンドウの「リモート通信」ページの「IPアドレスの連絡」枠の「リモート時の自動IP読込・メンバ探索」チェックを入れます。



②「8人モニター」ウィンドウの「名前」枠の色が変化します。



### 【注意】

「アドレスリストに参加」ボタンや「リストから離脱」ボタンを押さないでください。

①のチェックを入れる以外の操作は不要です。

参考

# ネットワーク遅延が連携入力に及ぼす影響

ネットワーク遅延が250msecあると連携入力が困難になるという研究結果あります。

- ①音声・映像の情報を得るタイミングの差
- ②モニター部の表示の遅れ

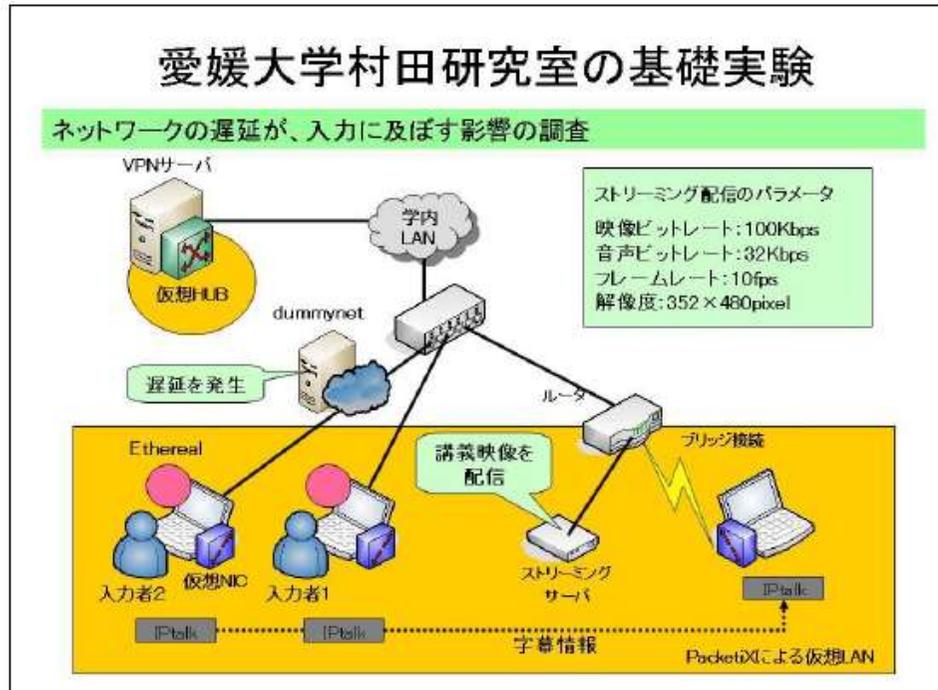


図-46 愛媛大学村田研による基礎実験システム構成図[13][14]

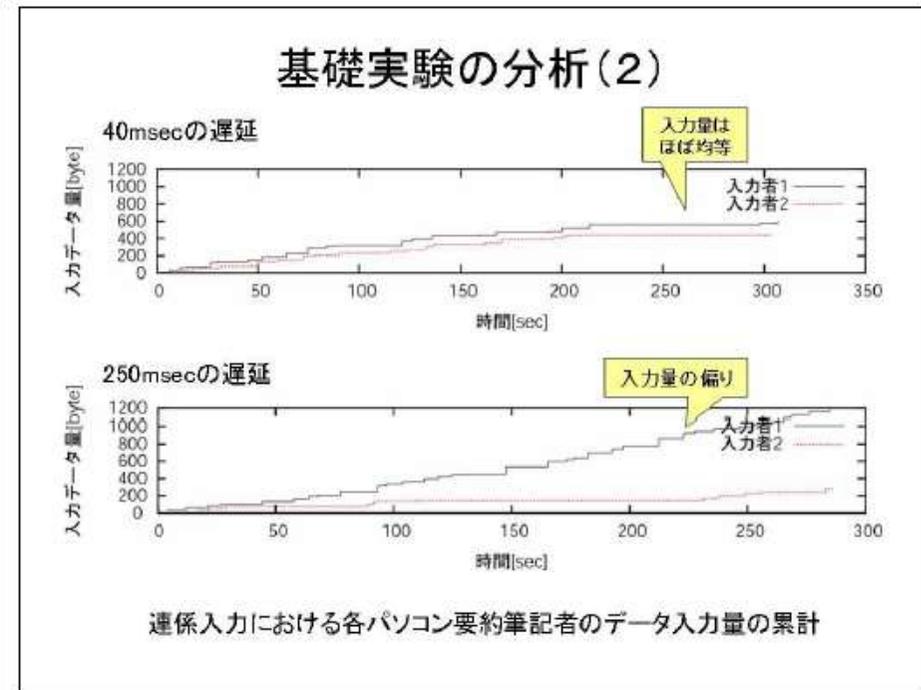


図-48 基礎実験分析結果(2)

・図は「インターネットを活用した『どこでも情報保障』の提案」のP34

[http://www.s-kurita.net/largo/largo\\_report2006\\_ubiquitous.pdf](http://www.s-kurita.net/largo/largo_report2006_ubiquitous.pdf)

・引用論文は以下

[13] 小林 敏泰、村田 健史、木村 映善、遠隔パソコン要約筆記システムの開発、電子情報通信学会技術研究報告、vol.105, No.506, pp.55-60, 2006.

[14] 小林敏泰、VPN を用いた動画映像ストリーミング配信による遠隔パソコン要約筆記の検討、愛媛大学工学部情報工学科卒業論文、2006.

おわり